



五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

10月

(木) 窓つくり



色々な場所での窓つくりが続いている。いつも4人5人だかこの日は五分らしくグループが合体して一緒に作って楽しんでいた。

「ここからも入るよ!」

みんなで協力して木を上に上に運んで作りあげていく。

3m 4m 5mの竹のほりに掛かる。

手の使え方は足の使い方を教える姿も見られる。



木を使った車つくり。車の中の様子やタイヤもあるとよく説明してくる。



陽にまわりのまじり箸を工夫して作ったりしあしやハリスも楽しんで。とても楽しそうだった。

「こい、まぜるとできあがり!」



「ほう、でかいでかい!!」
虫とりのピックは遠くまでか
久しぶりの大物にとっても嬉し



土粘土、指で細かく工夫していた。



土粘土を掘るのに竹馬を利用したりかきまき掘りやシをもちこる。



「ほらきれいだ!」



ヒョウれんと手に水を付けてや、こいた。



おわらかくなる。土粘土を少し集めてつづいて大きな固まりを作る。

(泥んこ作り)

白砂と大草をく集める。土を混ぜて、小さなものを作って見せてくれる。「ほら! きれいだ!」



板、石、土を混ぜてみながら、力を合せて



「すごいね!! 何ぞい?」
「うーん」ハタハタ、スルルときわりをきいてみたらかたして「できた!!」



泥んこを遊ぶ。